



社会福祉法人浪岡あすなろ会

代表者名：理事長 平野 悦郎

業種：社会福祉施設

所在地：青森市

労働者数：116名（男性61名、女性55名）

1 企業概要

「個人としての権利と自由を保障し、その人らしく地域で暮らし続けることを支援し、健康で豊かな地域社会作りに貢献する」という理念のもと、障害福祉サービスの提供を行っています。平成8年に入所施設りんどう苑を開設し、その後各種通所サービスやグループホーム等展開しています。

2 子育て支援に力を入れたきっかけと効果

法人内では女性職員が出産、育児休業後復帰するということが当たり前でしたが、従業員の仕事と子育てに関する一般事業主行動計画の策定義務化を機に、改めて規程等の見直しを行い、改善を進めてきました。これにより、男性職員にとっても仕事と育児を両立しやすい環境が少しずつ整えられています。

3 計画に掲げた目標

（計画期間 平成30年4月2日～令和3年3月31日）

- ①「ノー残業デー」を設定する。
- ②3年以内に男性職員による子の看護休暇取得を実現させる。

4 主な取組内容・取組効果

主な取組内容

- 毎週火曜日を「ノー残業デー」として定時退勤を励行
- 対象者へ育児関連制度の個別周知を実施

取組における工夫点

ノー残業デーの実施については、各事業所の引き継ぎ等で周知を徹底し、管理者を含む上司も率先して定時退勤するなどして定着を図りました。男性職員の子の看護休暇については、対象者だけではなく各部署にも目標の意義を周知することで、対象者が取得しやすい空気づくりを目指しました。

育児休業等の取得状況

計画期間中に、

男性労働者2名が看護休暇を取得

女性労働者9名が育児休業取得

（計画期間中の取得率：150%）

子の看護休暇を取得した男性労働者の声

自分と同じように妻も仕事をしているのに、子供が体調を崩す度に妻だけが仕事を休むという状況を申し訳なく思っていました。父親の自分も子の看護休暇を活用することで、夫婦それぞれの予定を確認して都合をつけやすい方が仕事を休むことができます。これからもよく話し合い、お互いに協力しながら子育てを続けていきたいと思えます。

5 企業代表からのメッセージ

少子高齢化が続く日本において、子供は国の将来を担っていく大切な宝です。子供達の家族はもちろんのこと、その家族が働く職場、そして社会全体でその成長を見守っていかねばなりません。また、私共法人にとっては、共に働いてくれる職員も子供たち同様にとっても大切な宝と言えます。できることは些細なことかも知れませんが、職員にとって少しでも「働きやすい職場」と感じてもらえるよう、今後も一歩一歩取り組みを進めて参ります。